

まちの話題



音更町消防団が 創設100周年

音更町消防団創設100周年記念式典が文化センターで挙行政され、団員や関係者約200人が出席しました。式典では、地域の火災予防に貢献した9団体、元団長・副団長・分団長12人、消防団後援会長18人に感謝状が贈呈されました。有賀克幸団長は式辞で「今後もこれまでの歴史と伝統を継承しながら、あらゆる災害で活動できるよう、関係機関と連携しながら訓練に努め、安心して暮らせるまちづくりを目指していきたい」と述べました。



新道の駅おとふけ 飲食新メニュー プロジェクト進行中

共栄中学校2年生が新道の駅おとふけで提供する飲食メニューの開発に取り組んでいます。生徒たちは「麺類、丼物、和洋食」「ベーカリー、テイクアウト」「スイーツ、飲料」の3部門に分かれ、町の農畜産物1品以上をメインに使用したメニューをネーミングや見栄え、物語性を意識して作成中。今回は各出店事業者の皆さんから実際にメニューを考へるときに必要なターゲットの設定や原価計算の考え方などを学び、審査会出品への意欲を高めていました。





北海道十勝スカイアース 激闘の記録を写真展に



十勝からJリーグを目指すサッカーチーム「北海道十勝スカイアース」の写真展を役場と図書館で開催。写真展では、天皇杯でJ2チームに勝利した激闘の試合の様子などのほか、同チームのゴールキーパーで町の地域おこし協力隊員を務める曳地裕哉選手の等身大パネルを展示しました。曳地選手は「これからも応援してほしい」と話していました。



今年もおはよう青空市が スタートしました



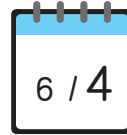
今年度第1回目のおはよう青空市が道の駅おとふけで行われました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、1カ月遅れの開始となりましたが、会場には野菜や花などを買い求める人たちが開始時間前から来場する人気ぶり。今後も感染症対策を万全にして、10月まで定期的開催の予定です。



大きくおいしく育ちますよ うに



共栄台幼稚園の子どもたちが、ふれあい農園で種まきを行いました。子どもたちは種イモやエダマメ、トウモロコシの種を手に「小さくて落としそう」と緊張した様子を見せながら、優しく埋めていきました。全ての作業を終えた子どもたちは「上手にできた」と笑顔浮かべ、今後の成長や収穫を楽しみにしていました。



新道の駅おとふけに時計塔 を寄贈



音更ロータリークラブ(中西眞信会長、会員37人)から令和4年4月オープン予定の新たな「道の駅おとふけ」に設置する時計塔を寄贈いただきました。中西会長(中央)は「町に協力したいという会員の総意で寄贈を決めた。来場者に親しまれ、道の駅のシンボルとなるようなモニュメントになるとうれしい」と話し、小野町長から感謝状が贈られました。